

Music Program TOKYO
Workshop Workshop! コンビビアル・プロジェクト

東京文化会館 リラックス・パフォーマンス
世代、障害をこえて楽しめるコンサート

実施日 2022年(令和4年)11月19日(土曜日)
時間 14時から15時まで、休憩なし
会場 東京文化会館 小ホール

このプログラムは、読み上げ対応用の文字プログラムです。

主催:東京都／公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化
会館

特別協力:パイオニア株式会社

助成:文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強
化推進事業)独立行政法人日本芸術文化振興会
ブリティッシュ・カウンシル

東京文化会館リラックス・パフォーマンスへようこそ！

リラックス・パフォーマンスの「リラックス relaxed」は“寛容な”という意味。少し音をたてても、身体が動いても、大丈夫。発達障害や自閉症などでホールでの音楽鑑賞に不安がある方も、耳の聞こえない方や聞こえにくい方も、一緒に音楽を楽しめるように、様々な工夫をしています。たとえば…

- 1 客席の照明を完全に暗くしません。
- 2 上演中に休憩が必要になった場合は、客席の外に出て休憩できます。途中で席に戻ることもできます。
- 3 手話通訳があります。
- 4 音を振動で伝える体感音響席やヒアリンググループ席があります。
- 5 ホールの中では食べたり飲んだりできません。
- 6 携帯電話やアラーム付き腕時計などは電源を切りましょう。
- 7 公演の写真撮影、録音、録画はできません。

お客様へのお願い

- 1 会場内ではマスクの着用をお願いします。
- 2 咳エチケットやこまめな手洗い、手指の消毒にご協力ください。
- 3 ソーシャル・ディスタンスの確保にご協力ください。
- 4 大きな声での会話や演奏者への声援はお控えください。音楽が気に入ったら、演奏が終わったときに大きな拍手をお願いします！

プログラム

- 1 チャイコフスキー作曲(ラフマニノフ編曲)
組曲『眠れる森の美女』作品番号 66a より 第 5 番ワルツ
- 2 ブラームス作曲
ハンガリー舞曲第 5 番
- 3 フォーレ作曲
組曲『ドリー』作品番号 56 より 第 3 曲「ドリーの庭」
- 4 ホルスト作曲
組曲『惑星』作品番号 32 より 第 4 曲「木星(ジュピター)」
- 5 J.S.バッハ作曲
カンタータ『わが楽しみは、元気な狩のみ』バッハ作品目録
208 より 第 9 曲 アリア「羊は安らかに草を食み」
- 6 ミヨー作曲
組曲『スカラムーシュ』より 第 3 楽章「ブラジルの女」
- 7 モーツァルト作曲
2台ピアノのためのソナタ 二長調 ケツヘル番号 448 より
第 3 楽章 アレグロ・モルト
- 8 サン＝サーンス作曲
組曲『動物の謝肉祭』より 第 14 曲 フィナーレ

出演

ピアノ:

きたむらあすと(北村明日人)(第 17 回東京音楽コンクール
ピアノ部門第 2 位)

たかくらけいご(高倉圭吾)

ゲスト出演:

アミーナ・フサイン(マンチェスター・カメラータ首席フルート
奏者)

ナオミ・アタートン(マンチェスター・カメラータ首席ホルン
奏者)

かわいゆみこ(河合祐三子)(俳優/ろう通訳者)

ナビゲーター:

いはらさゆり(伊原小百合)(東京文化会館ワークショップ・リ
ーダー)

手話通訳:

加藤裕子、小徳良枝、瀬戸口裕子、南里清美、山崎 薫

<スタッフ>

音響: 末廣友紀(東京文化会館)

演技指導: 伊奈山明子

サインポエム・アドバイザー: ささまりーSasa/Marie

構成: 杉山幸代(東京文化会館)

曲目解説

1 チャイコフスキー作曲(ラフマニノフ編曲)

組曲『眠れる森の美女』作品番号 66a より 第5曲ワルツ

バレエ音楽の名手、チャイコフスキーの代表作をピアノ連弾用に編曲したもの。デジレ王子の口づけで 100 年の眠りから目覚めたオーロラ姫たち。華やかな王宮や結婚式の様子、バレエの踊りを想像しながら聴いてみよう。

〈2 台ピアノで演奏します〉

2 ブラームス作曲

ハンガリー舞曲第 5 番

ドイツ演奏旅行中、ブラームスはハンガリーのロマ(移動しながら生活する民族)の音楽に出会った。のちに舞曲集(全 21 曲)として発表されると、またたく間に当時話題の作品となる。オーケストラ版も有名。

〈2 台ピアノで演奏します〉

3 フォーレ作曲

組曲『ドリー』作品番号 56 より 第 3 曲「ドリーの庭」

フランスの作曲家、フォーレは友人の娘(愛称ドリー)のために 6 つの連弾曲を作った。「ドリーの庭」はドリーが 3 歳になる年に贈られた。穏やかな曲調で、移り変わるメロディと転調(曲の途中で調を変えること)が特徴的。

〈2 台ピアノで演奏します〉

4 ホルスト作曲

組曲『惑星』作品番号 32 より 第 4 曲「木星(ジュピター)」

オルガニストや合唱指揮者としても活躍したイギリスの作曲家ホルスト。占星術に関心があり、惑星の一つずつに副タイトルをつけた。「Jollity(陽気さ)をもたらす者」と表された「木星」の中間部の堂々としたメロディはとりわけ有名。

〈2 台ピアノで演奏します〉

5 J.S.バッハ作曲

カンタータ『わが楽しみは、元気な狩のみ』バッハ作品目録 208 より第 9 曲 アリア「羊は安らかに草を食み」

バッハがザクセン侯の誕生日を祝って書いたカンタータ。バッハは、このアリアで羊飼いを領主、羊を民衆に例えて「良い羊飼いのもとでは羊は安らかに草を食せる」と侯を讃えた。今日はホルン、フルート、ピアノのアンサンブルで演奏する。

〈2 台ピアノ、フルート、ホルンで演奏します〉

6 ミヨー作曲

組曲『スカラムーシュ』より 第 3 楽章「ブラジルの女」

フランス生まれのミヨーが作曲し、1937 年パリ万国博覧会で初演された。「ブラジルの女」はタイトルに「サンバのリズムで」と書き添えられている。ブラジル音楽やジャズに影響を受けたミヨーらしいポリリズムや多調(いくつかの調を重ねる)の技法がふんだんに使われている。

〈2 台ピアノ、フルート、ホルンで演奏します〉

7 モーツァルト作曲

2 台ピアノのためのソナタ 二長調 ケツヘル番号 448 より
第 3 楽章 アレグロ・モルト

35 年の生涯で 620 以上作曲したモーツァルトが唯一完成させた 2 台ピアノのためのソナタ。第 3 楽章は軽やかなロンド形式(同じテーマが繰り返される)で、2 人のピアニストの確かな技巧と息のあった演奏が求められる。

〈2 台ピアノで演奏します〉

8 サン=サーンス作曲

組曲『動物の謝肉祭』より 第 14 曲 フィナーレ

クラシック音楽のなかでとても有名なパロディ音楽。フランス人のサン=サーンスのユーモアと皮肉が詰まっている。「フィナーレ」は野生のラバやカンガルーなど様々な動物のメロディが登場するにぎやかな 1 曲。

〈2 台ピアノ、フルート、ホルンで演奏します〉

(曲目解説終わり)

出演&プロフィール

ピアノ:きたむらあすと(北村明日人)(第 17 回東京音楽コンクールピアノ部門第 2 位)

神戸市出身。チューリッヒ芸術大学音楽学部、同大学院ソリストコース修了。第 46 回ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリおよび聴衆賞他、国内外のコンクール多数入賞。これまでに東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、バーゼル室内管弦楽団等と共演。独奏、室内楽演奏のほか編曲、即興なども行う。現在は東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程に在籍。伊藤恵、Eckart Heiligers 各氏に師事。

ピアノ:たかくらけいご(高倉圭吾)

パリ地方音楽院室内楽科、パリ国立高等音楽院ピアノ科を修了。現在、東京藝術大学大学院修士課程在学。第 5 回野島稔よこすかピアノコンクール第 2 位。東京藝大モーニングコンサート出演。第 15 回 G.Pecar 国際ピアノコンクール第 1 位。Les Musicales du Centre 即興部門第 1 位。第 90 回日本音楽コンクール第 3 位。これまでに室内楽を Trio Wanderer、F.Salque 氏に、ピアノを佐藤睦美、橘高昌男、植田克己、上田晴子、F.Braley、有森博の各氏に師事。

ナビゲーター:いはらさゆり(伊原小百合)(東京文化会館ワークショップ・リーダー)

東京藝術大学音楽学部楽理科卒業、同大学院修士及び博士課程(音楽教育)修了。乳幼児の音楽教育研究を専門とする。中学校・高等学校教員免許(音楽)と保育士の資格をもつ。現在、共栄大学専任講師、聖心女子大学非常勤講師として保育者・教員養成にあたる。東京文化会館ワークショップ・リーダー育成プログラム第 1 期生。産休を経て、東京文化会館ミュージック・ワークショップに多数出演中。

アミーナ・フサイン(マンチェスター・カメラータ首席フルート奏者)

チェルトナム音楽学校、英国王立ノーザン音楽大学で学ぶ。以来20年以上、欧州各地のオーケストラでフルート客演首席奏者を務め、これまでにキャサリン・ジエンキンス、ガールズ・アラウド、アンドレア・ボチェツリ、エリザベス女王2世などと共演。テレビやラジオに多数出演、収録CDも多い。現在、マンチェスター・カメラータ首席フルート奏者。演奏活動の傍ら、音楽療法士の資格を取得。認知症、高齢者メンタルヘルス、発達障害を専門にした音楽療法士としても活動中。

ナオミ・アタートン(マンチェスター・カメラータ首席ホルン奏者)

英国王立ノーザン音楽大学修了。在学中に英国若手音楽家の登竜門 BBC ヤングミュージシャン金管部門で優勝し、注目を集めた。ソリスト、室内楽奏者、客員首席ホルン奏者として活躍。これまでにロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団や BBC フィルハーモニー、BBC プロムスなどの欧州各地のオーケストラやフェスティバルに招かれている。現在、マンチェスター・カメラータおよびノーザン室内楽団首席ホルン奏者。プロ演奏家としてのキャリアに加え、地域の音楽活動にも20年にわたり専心。マンチェスター・カメラータの認知症対応プログラム「Music in Mind」は最も重要な仕事のひとつと考えている。

かわいゆみこ(河合祐三子)(俳優／ろう通訳者)

俳優としてシリアスなものからユーモラスな作品まで、個性豊かなキャラクターを活かし、幅広いジャンルの舞台に多数出演。2018年よりサインポエット(手話)と声の朗読、ダンスなどゆるやかに繋がり合うユニット『でんちゅう組』メンバー。手話や音を超えた表現を模索している。舞台以外でも、手話表現・非言語表現ワークショップ講師、TA-net 舞台手話の監修を務めるなど、多方面に活躍中。

(出演者 & プロフィール 終わり)

TOKYO SOCIAL DESIGN with TAKUYA SASAKI

一人ひとりの力を活かしたソーシャルファームの中で協働している佐々木卓也さんと一緒にチラシ、ポスター、プログラムを製作しました。

東京文化会館の取り組み ～あらゆる人が音楽で交流できる社会をめざして

東京文化会館ではアートによる多元共生社会の実現に向けて、アートが持つ「創造性」「協調性」「参加性」を活かし、社会的課題に向き合いながら、人々の生活の質(QOL)の向上や共生社会実現につながる様々な取り組みを行っています。年齢や障害、社会的ハンディキャップのあるなしにかかわらず、あらゆる人々が音楽鑑賞や音楽創造体験に参加できる機会の提供や、多くの人々が新たな文化創造に主体的に関わることができる環境の整備に向けた取り組みを大切にしています。

Music Program TOKYO

世界的な芸術文化都市東京として、音楽文化の活性化を目指し、「創造性」と「参加性」を柱とした多様な事業を年間を通して一体的に展開する音楽プログラムです。クラシック音楽を基軸にしつつ、様々な分野のアーティストや文化施設等と連携して多彩な公演を実施する《Enjoy Concerts!》、海外の芸術機関や国内外の教育・社会福祉機関等と連携した《Workshop Workshop!》、そのほかの教育普及プログラムを《Music Education Program》として開催することで、東京の音楽文化に刺激を与え、世界に向け発信していきます。